

2013年度 第2四半期 決算説明会

株式会社朝日ネット

2013年11月12日(火)
証券コード: 3834



目 次

I. 損益の状況

- ❖ 損益計算書
- ❖ 配当金

II. ISP事業の状況

- ❖ 会員数の状況
- ❖ 退会率の推移
- ❖ 法人顧客向けサービスが好調

III. クラウドサービスの展開

- ❖ 立命館大学が「マナバ」を全学導入
- ❖ 「マナバ」をリニューアル
- ❖ 「マナバ」を活用した新しい取り組みのご紹介
- ❖ マナバセミナー（第12回、第13回）
- ❖ 「マナバ」ラインナップの拡がり

<将来予測に関する注意事項>

この資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの記述は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。従いまして、これら業績見通しに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。様々な重要な要因により、実際の業績はこれら業績見通しと大きく異なる可能性があり、そして見通しと比べて悪い結果となる場合もあります。また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

I . 損益の状況

損益計算書(連結) 前年同期比較、年度計画比較

- 前年同期比で増収増益。営業利益は22%増。
- 営業利益率 23.7%
- 年度計画に対して順調に進捗。

【前年同期との比較】

(単位:百万円)

	2012年度 上期実績	2013年度 上期実績	増減額	増減率
売上高	3,557	3,743	+186	+5.2%
(利益率) 営業利益	(20.5%) 728	(23.7%) 888	(+3.2p) +160	+22.0%
経常利益	734	880	+146	+19.9%
純利益	440	507	+67	+15.3%

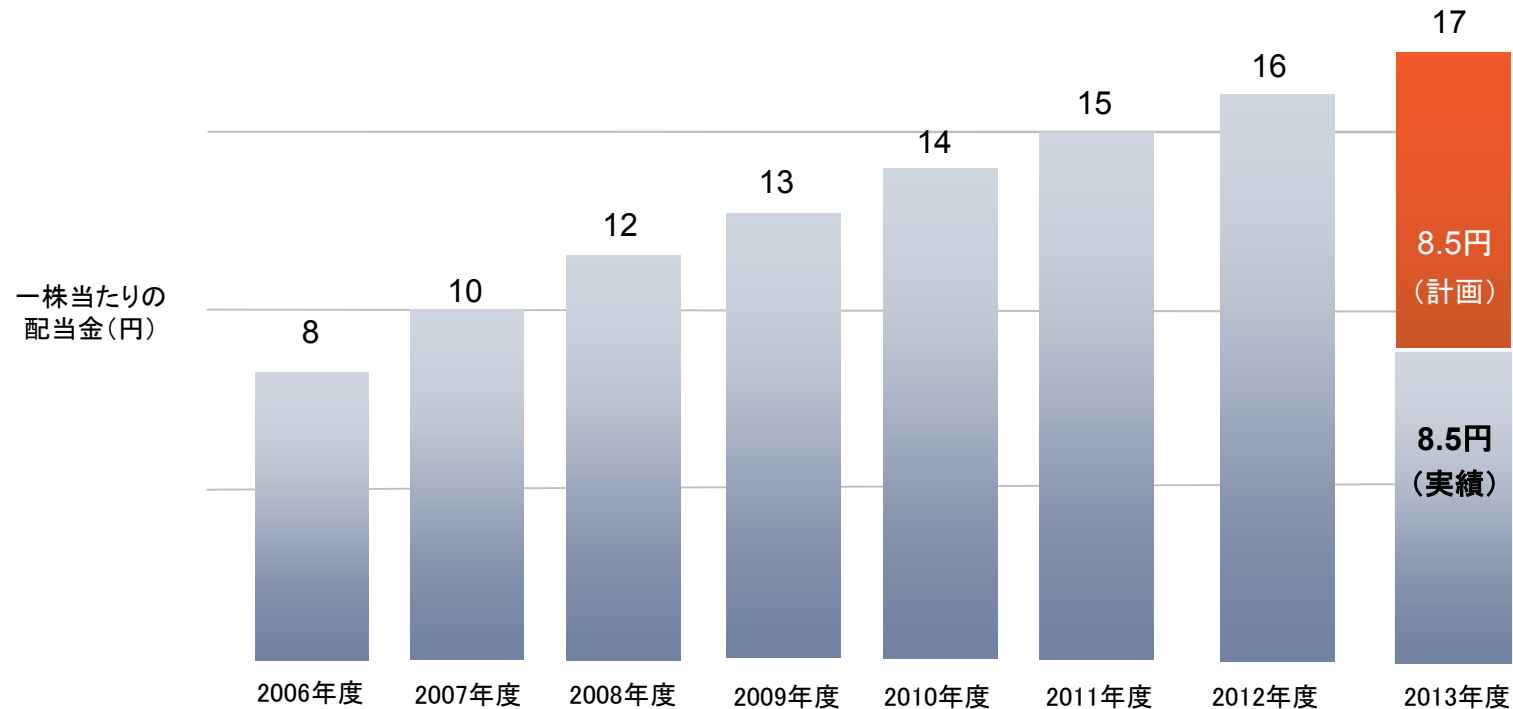
【年度計画との比較】

	2013年度 年度計画	2013年度 上期実績	進捗率
売上高	7,600	3,743	49.3%
(利益率) 営業利益	(22.6%) 1,720	(23.7%) 888	51.6%
経常利益	1,680	880	52.3%
純利益	990	507	51.2%

配当金

2013年度の配当予想は、1円増配の17円(1株当たり)

- 上場以降、安定的な増配基調を継続
- 2013年度 連結配当性向 54.7% 予定



今後も持続的な増益基調が望めることから、安定的な高配当を継続していく予定

Ⅱ. ISP事業の状況

会員数の状況

- 「ASAHIネット」会員数は、537千人（対前年 14千人増）
- 獲得コストが低く、利益率の高い、法人会員が順調に増加。顧客獲得損益が改善。
- 他 ISPからの乗り換え好調により、光接続会員が増加。

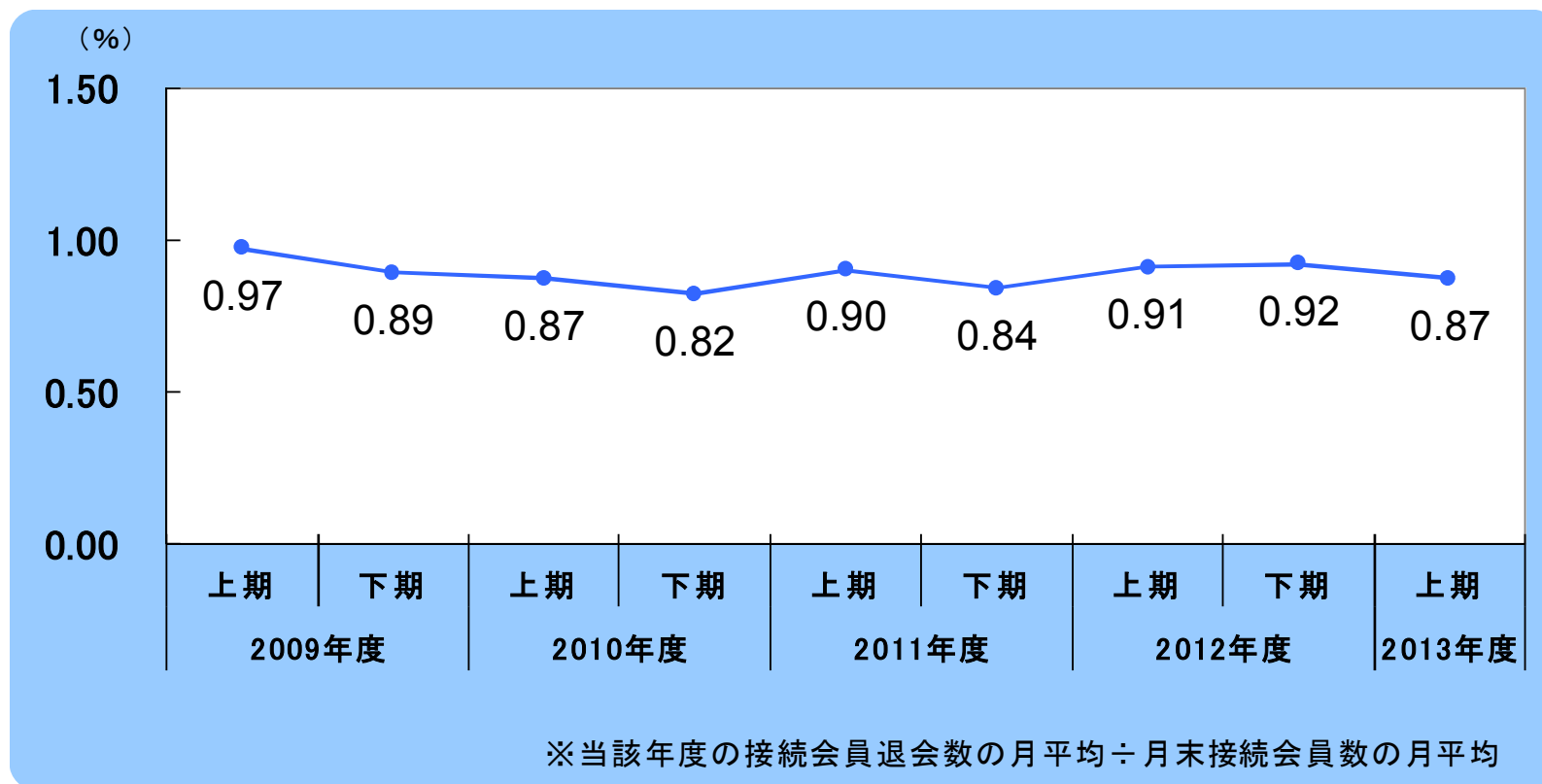
（単位：千人）

	2012年9月末	2013年 9月末	増減数	増減率
光接続	289	304	+15	+5.2%
ADSL	55	46	-9	-16.5%
ブロードバンド合計	344	350	+6	+1.7%
ナローバンド、他	179	187	+8	+4.7%
会員数	523	537	+14	+2.7%

退会率の推移

- 全回線における平均退会率は、引き続き1%を下回る水準。

退会率



法人顧客向けサービスが好調

- 法人向けのインターネット販売が好調。

機器同士がインターネットを通じて情報のやり取りをする「M2M(Machine to Machine)」分野の需要増加。

M2M需要の増加

エネルギー管理システム
BEMS (Building Energy Management System)

駐車場の自動精算機

防犯・監視カメラシステム

デジタルサイネージ



M2M通信に適した
モバイルサービス

ASAHIモバイル
WiMAX

ASAHIネット **LTE**

ASAHIネットの高品質かつセキュアなモバイルサービスが選ばれています

Ⅲ. クラウドサービスの展開

立命館大学に「マナバ」を全学導入

- 立命館大学の全ての学部、全研究科に「マナバ」を導入。

全教員と学生、約4万人が利用。



全学部で「マナバ」を導入した立命館大学

導入に至ったポイント

- ◎ 学生に対して、場所や時間を選ばずに効果的な学習環境を提供できる
- ◎ 授業前、授業中、授業後と幅広いシーンを支援するシステム
- ◎ 誰でも使える
シンプルで分かりやすいインターフェース
- ◎ システム開発力
- ◎ サポート力

「マナバ」をリニューアル

<リニューアルのポイント>

- ◎ 大学の授業を支援する新機能を追加
 ～ プロジェクト学習機能、出席確認機能 ～
- ◎ 大学の既存システムとのスムーズな連携が可能に。

新機能の追加により、「マナバ」の活用シーンが増えました



- ・スマートフォンや携帯電話を使った「出席確認機能」
- ・リアルタイム「アンケート機能」
- ・グループ学習に最適な「プロジェクト学習機能」

学内システムとの連携が可能になったため全学導入がしやすくなりました



「マナバ」を活用した新しい取り組みのご紹介 ～コンテンツ～

教育コンテンツを所有する機関と連携
「マナバ」に有益な教育コンテンツを取り込み、大学向けに販売



<講座概要>

日本英語検定協会が作成したe-learning講座
『Study-Abroad & Preparation for Academic Writing』

英語でアカデミックエッセイを書くために必要な
基礎力～応用力を3か月で習得できます。

学習期間 : 約3か月
毎週1回、1Unitを学習

学習時間 : 1Unitにつき1時間(目安)

学習構成 : 全11Unit

<留学予定の方にお勧め>

- ・留学先で通用するライティング力を身に付けたい人
- ・効率的に学習したい人
- ・自分が書いたエッセイをプロに添削して欲しい人

マナビセミナー(第12回、第13回) ～マーケットの創出～



セミナーの様子(京都)

全学導入

グローバル人材育成

アクティブラーニング

大学間連携

入学前教育

看護教育

教職課程

- <例>
- ・ICTを活用した授業改善 ～manaba導入と大規模講義における活用事例～ (立命館大学)
 - ・英検の「アカデミックライティング講座」をmanabaで (京都大学)
 - ・大学間連携におけるmanabaを用いた「国際協力人材」育成 (明治大学・立教大学・国際大学)
 - ・グローバル人材を育成するための「発展的留学制度」とmanaba folioによる入学から卒業までの支援 (愛知県立大学)

のべ **200大学** から **340名** 以上の大学教職員が参加

「マナバ」ラインナップの拡がり





シンプル、だから安心。
シンプル、だから先進。